

2006 12 6 国土技術政策総合研究所講演会

# 公共工事の品質確保のための 取り組みの方向について

国土交通省 国土技術政策総合研究所  
研究総務官 兼総合技術政策研究センター長  
西川 和廣

# 公共工事を取り巻く現状

## (1) 談合問題と一般競争入札

- コスト縮減対策としての一般競争が談合対策に

## (2) いわゆるダンピング問題

- 総事業量の減少の追い打ちによる競争激化

## (3) 発注者の体制と技術力低下

- 増加する設計・工事ミス、事故の発生
- 受注者側の技術力低下も懸念
- 建設生産システムにおける発注者責任に関する懇談会 (H18.5-)
- 技術力はどこに行ったのか？

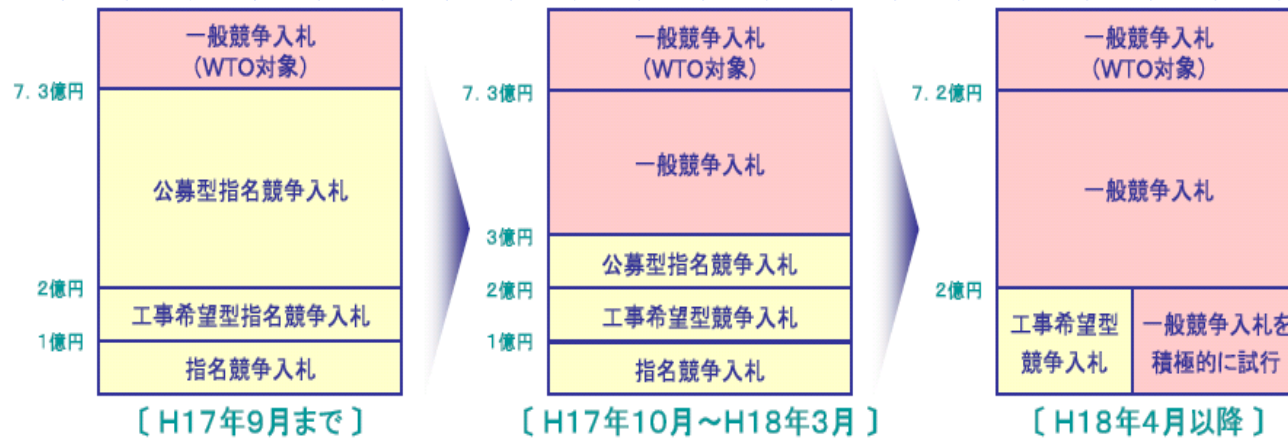
## (4) 「公共工事の品質確保の促進に関する法律 (品確法)」の施行

- 低入札の壁
- 発注者支援

# (1) 談合問題と一般競争入札

指名競争

一般競争入札の転換 等



「独占禁止法」の改正 (H18年1月施行)

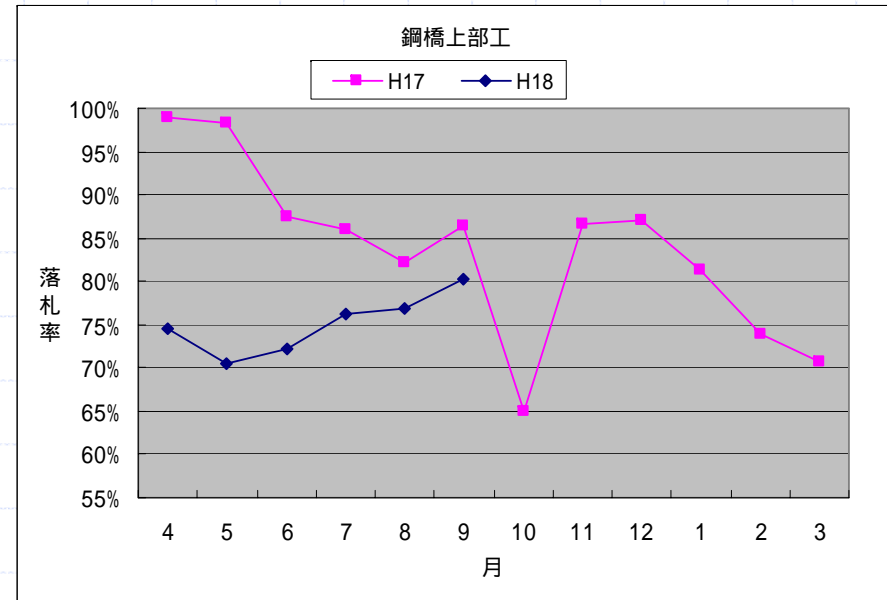


「透明性ある入札・契約制度に向けて - 改革姿勢と提言 - 」  
土工協 (2006年4月27日)

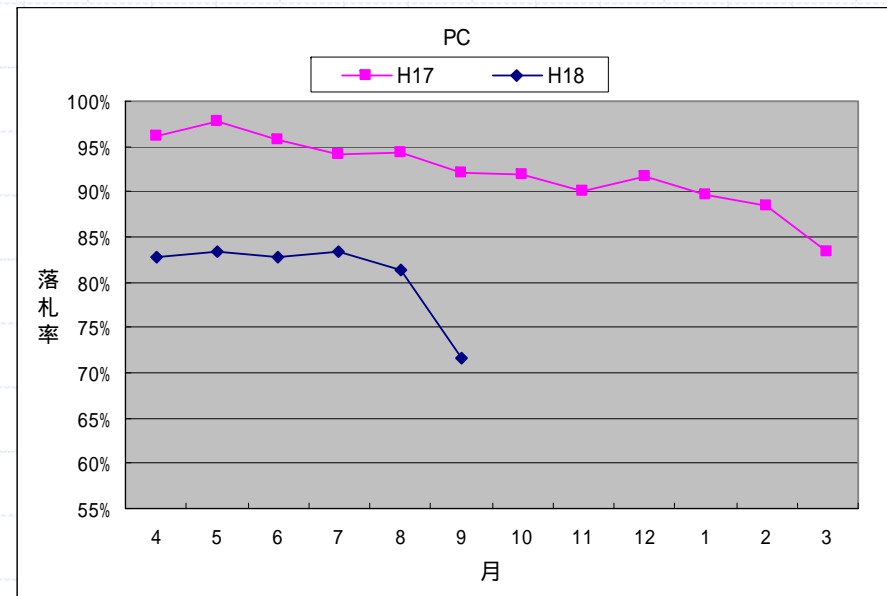
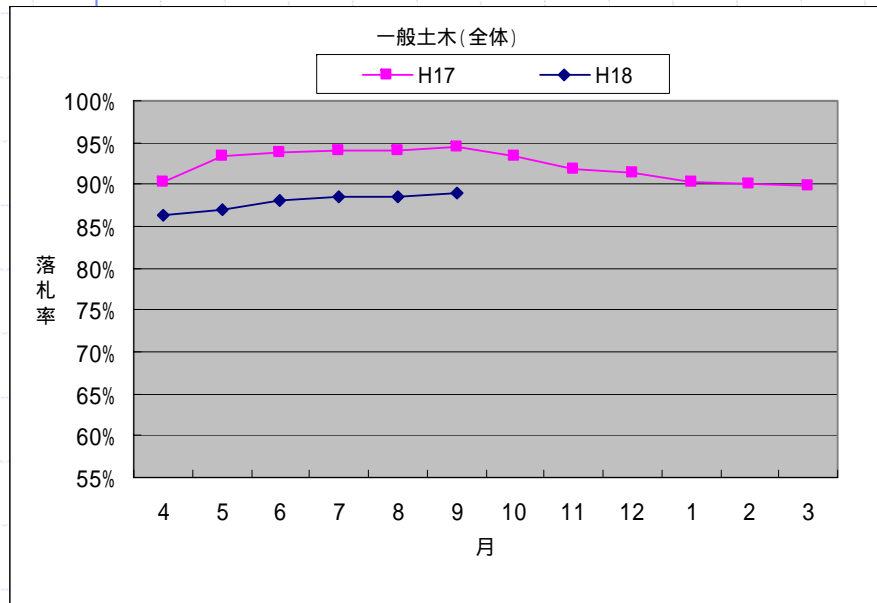
建設業界の過剰供給構造による競争の激化

## (2)いわゆるダンピング問題

### 鋼橋上部工



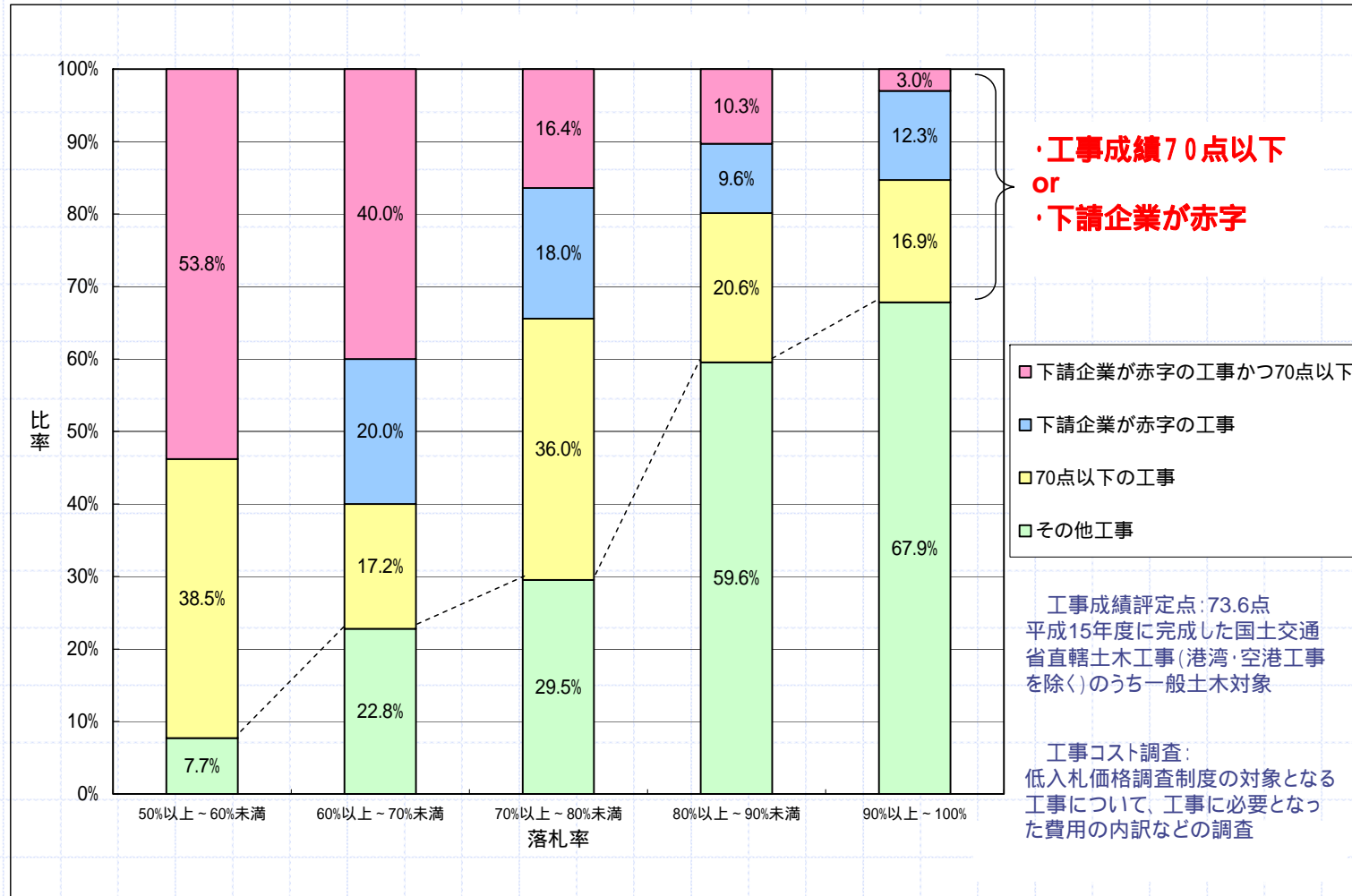
### 一般土木



### プレストレストコンクリート橋

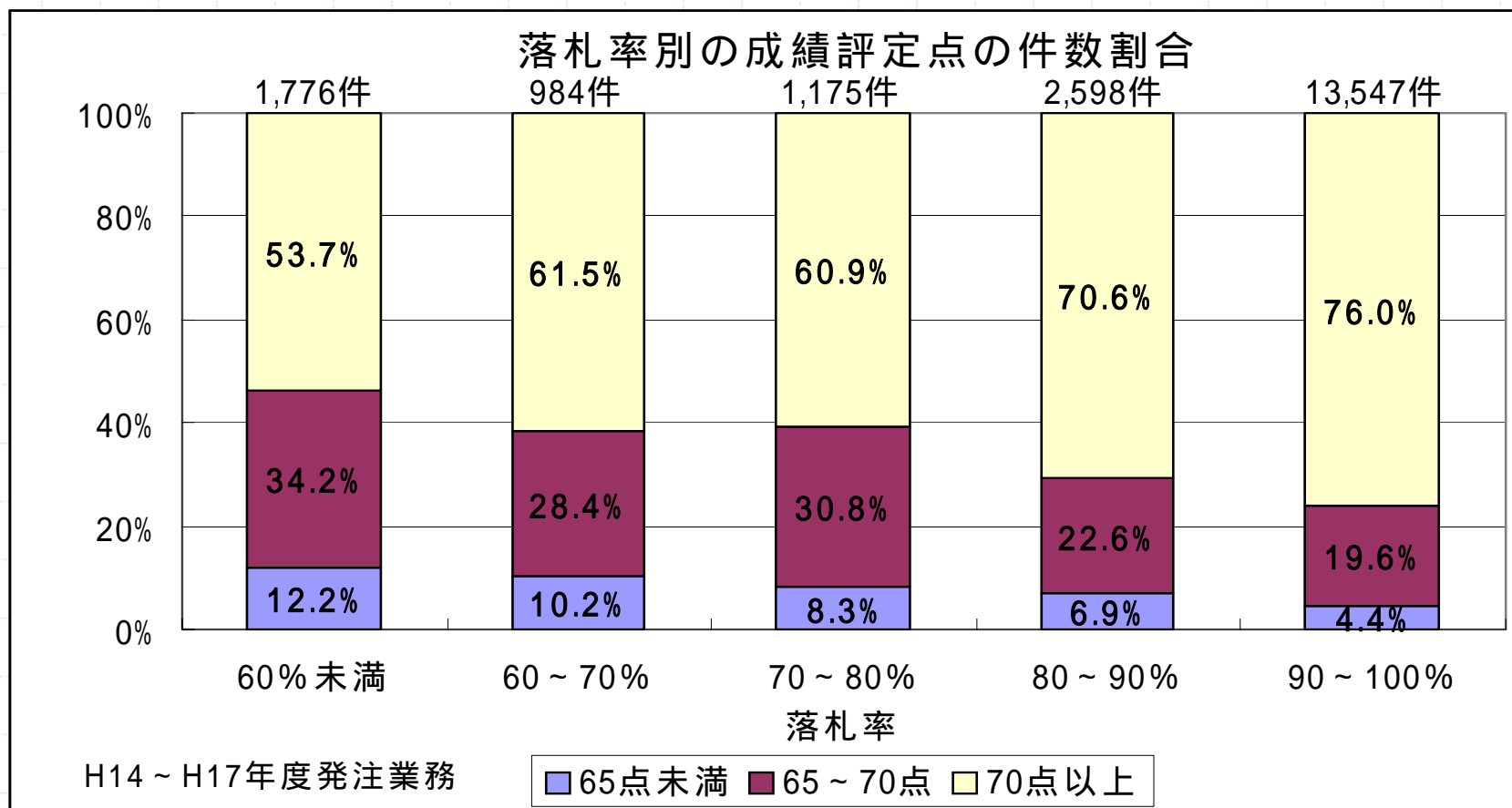
# 品質低下の懸念(工事)

落札率が低くなるほど、工事成績70点以下や下請企業が赤字の割合が増加

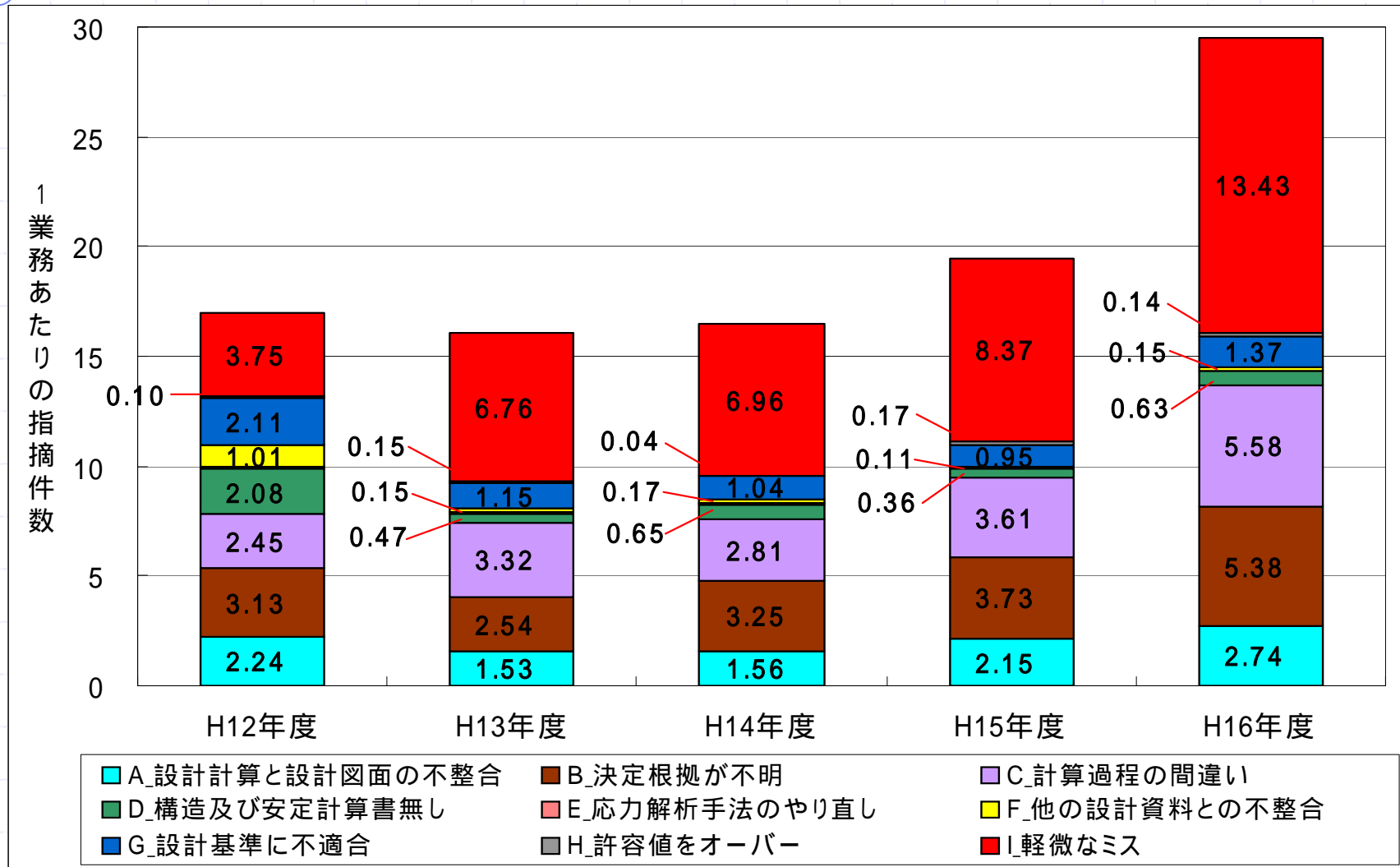


14年3月1日～16年3月31日に施工した国土交通省直轄土木工事(港湾・空港工事を除く)のうち一般土木(547件)

# 品質低下の懸念(コンサル業務)

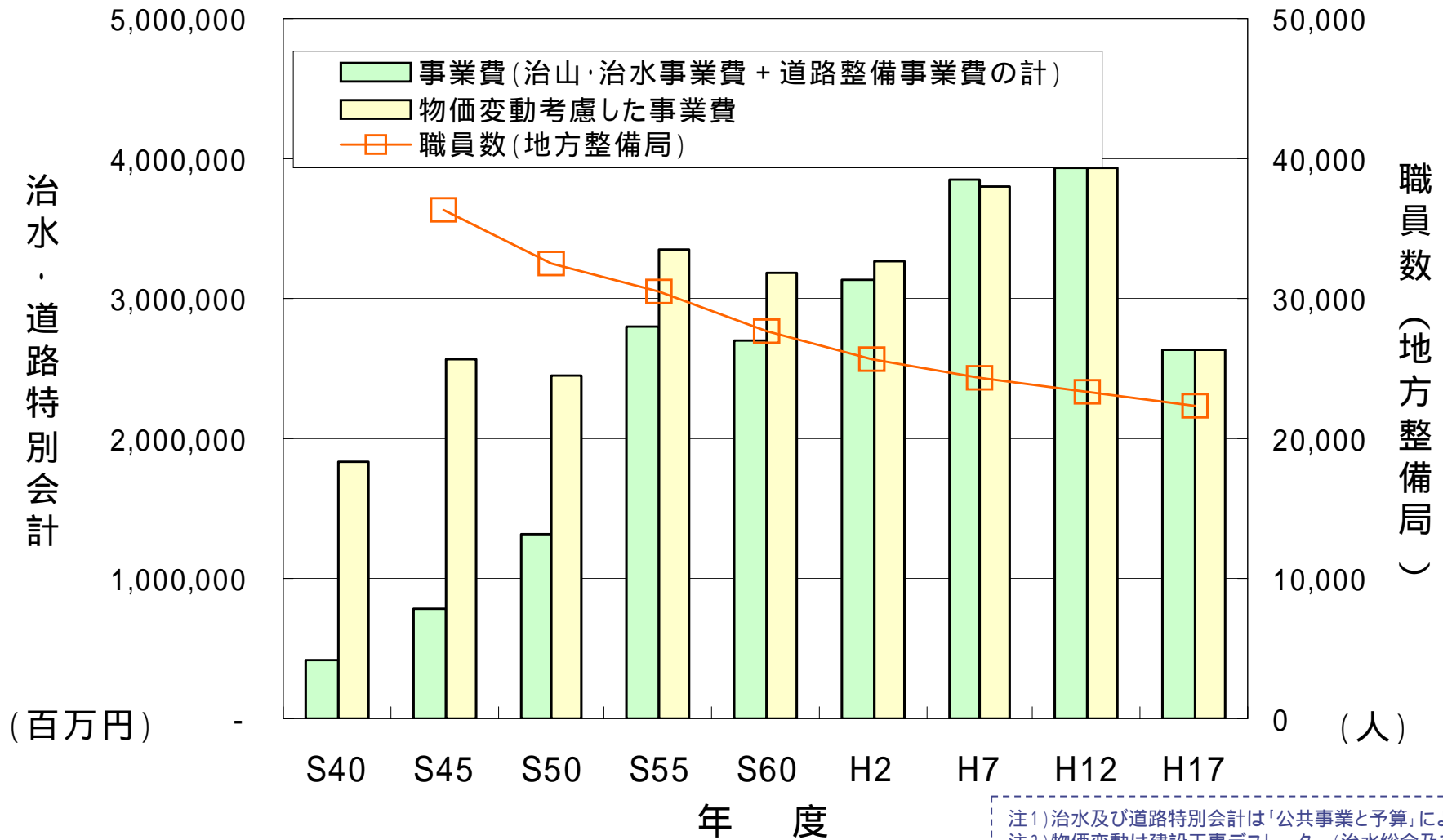


# 設計ミスの発生状況(コンサル業務)



# (3) 発注者の体制と技術力

事業量が最近まで増加の一途を辿ってきた一方で、現場を担う地方整備局の職員数は減少



注1) 治水及び道路特別会計は「公共事業と予算」による。  
 注2) 物価変動は建設工事デフレーター(治水総合及び道路総合)による。なお、H17年度はH17年4月からH18年1月まで。  
 注3) 職員数は8地方整備局における全定員数。



# 談合、設計・施工ミスによる国民の信頼喪失 技術力はどこに行ったのか？品質は？

## ◆ 技術基準、マニュアル、標準化の光と影

- 直営から民間企業への技術移転、事務の効率化の要請
- マニュアル技術者の増加、設計・施工ミス増加の一因

## ◆ 指名競争システムは品質確保のシステムでもあった

- 誰がやっても一定の品質、技術の進歩には障害
- 指名インセンティブの消失、公共事業費減少、受注競争の激化

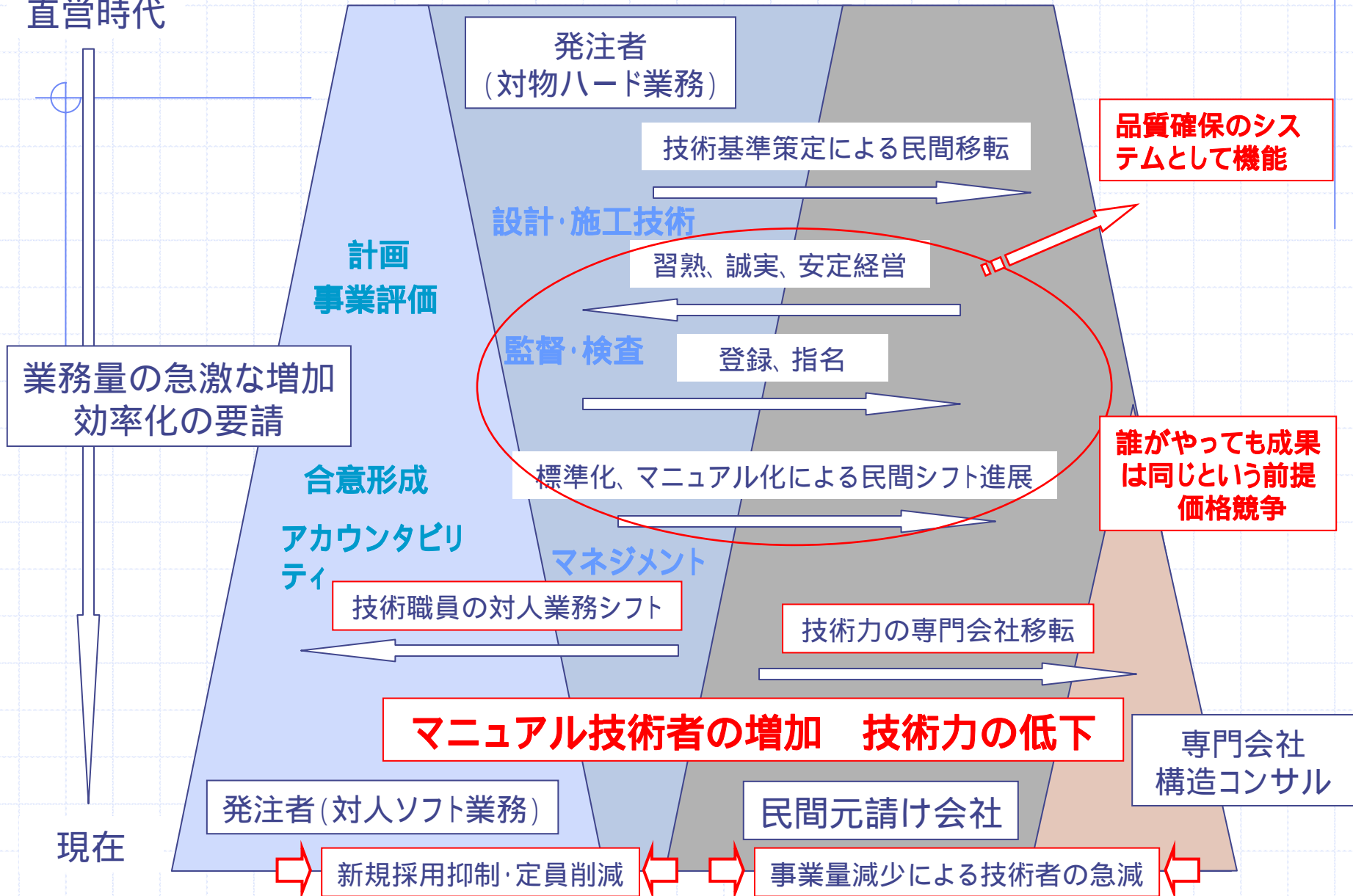
## ◆ 次の仕組みの模索

- 性悪説を前提としたシステムへの移行は可能か？
- 国民の指示を得られる指名に代わるシステムはあるか？
- 発注者、コンサルタント、施工会社の関係は今のままでよいか？

建設生産システムにおける発注者責任に関する懇談会 (H18.5-)

# 技術力はどこに行ったのか？品質確保はどうするのか？

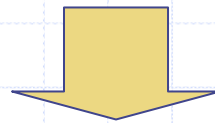
直営時代



## (4) 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」 (品確法)(H17年4月)

### 品確法のポイント

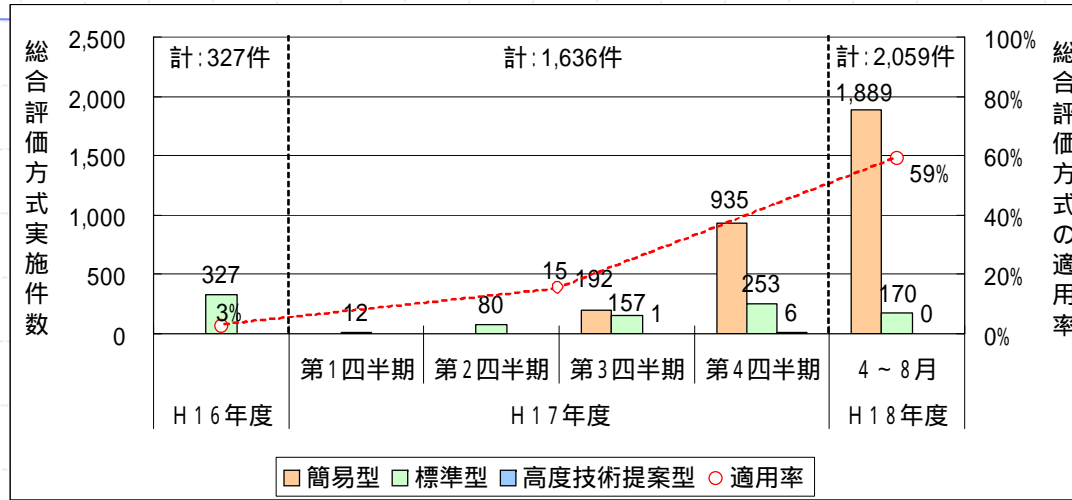
公共工事の品質確保に関する理念、発注者の責務の明確化  
価格競争から価格と品質の総合的に優れた調達へ  
技術力を重視した適切な発注手続  
発注者の支援



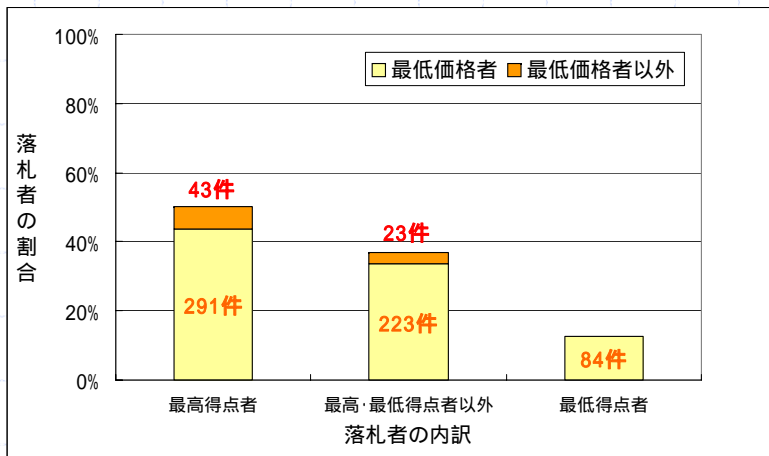
- ・ 公共工事の品質確保の重要性に関する再認識
  - ・ 計画・調査・設計・施工・維持管理の全体を通じた新たな品質確保システム(品質確保に向かうインセンティブ) の構築
- という期待

# 総合評価方式の実施状況

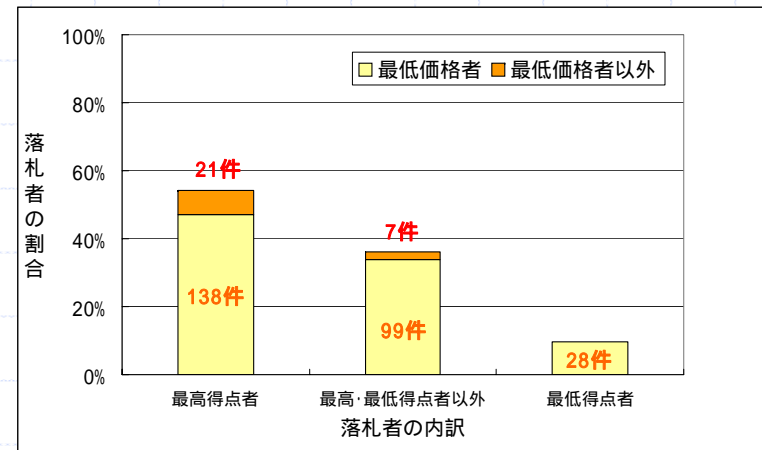
## 総合評価方式の適用状況



## 総合評価方式における落札者の内訳



簡易型



標準型

# 総合評価方式をどのように活用するか

- ◆ 品質確保にかかわる技術力(アイデア)を競うことによる品質向上へのインセンティブ
  - 品質 = 耐久性という商品価値の向上、国際的競争力
  - 一般化した新技術 標準仕様へ
  - 工事成績のプロセス評価 次回総合評価に反映
- ◆ 技術提案を評価する技術者がいないと言うが...
  - 相手(もちろん自分も)のレベルに合わせた提案を
  - 自らのプレゼンテーション力の無さを棚に上げない
- ◆ コンサルタント発注に総合評価方式は適用可能か？
  - 検討中、コンサルタントの位置づけ自体が課題では？

# 総合評価方式の見直しの観点

「公共工事における総合評価方式活用検討委員会」  
H18年9月よりガイドラインの見直し検討中

## 見直しの観点

技術力をより適切な評価

- ・技術力に係わる評価項目・評価方法・配点
- ・加算点の設定
- ・技術提案、簡易な施工計画の課題設定・評価方法

ダンピング対策 等

# 現在の主要な検討・取り組み状況

## 総合評価方式の見直し検討

- ✓ 公共工事における総合評価方式活用検討委員会
- ✓ さらに簡易な方式の模索
- ✓ 事例、ノウハウのフィードバック
- ✓ 低入札対策？

## 調査・設計等業務の品質確保方策

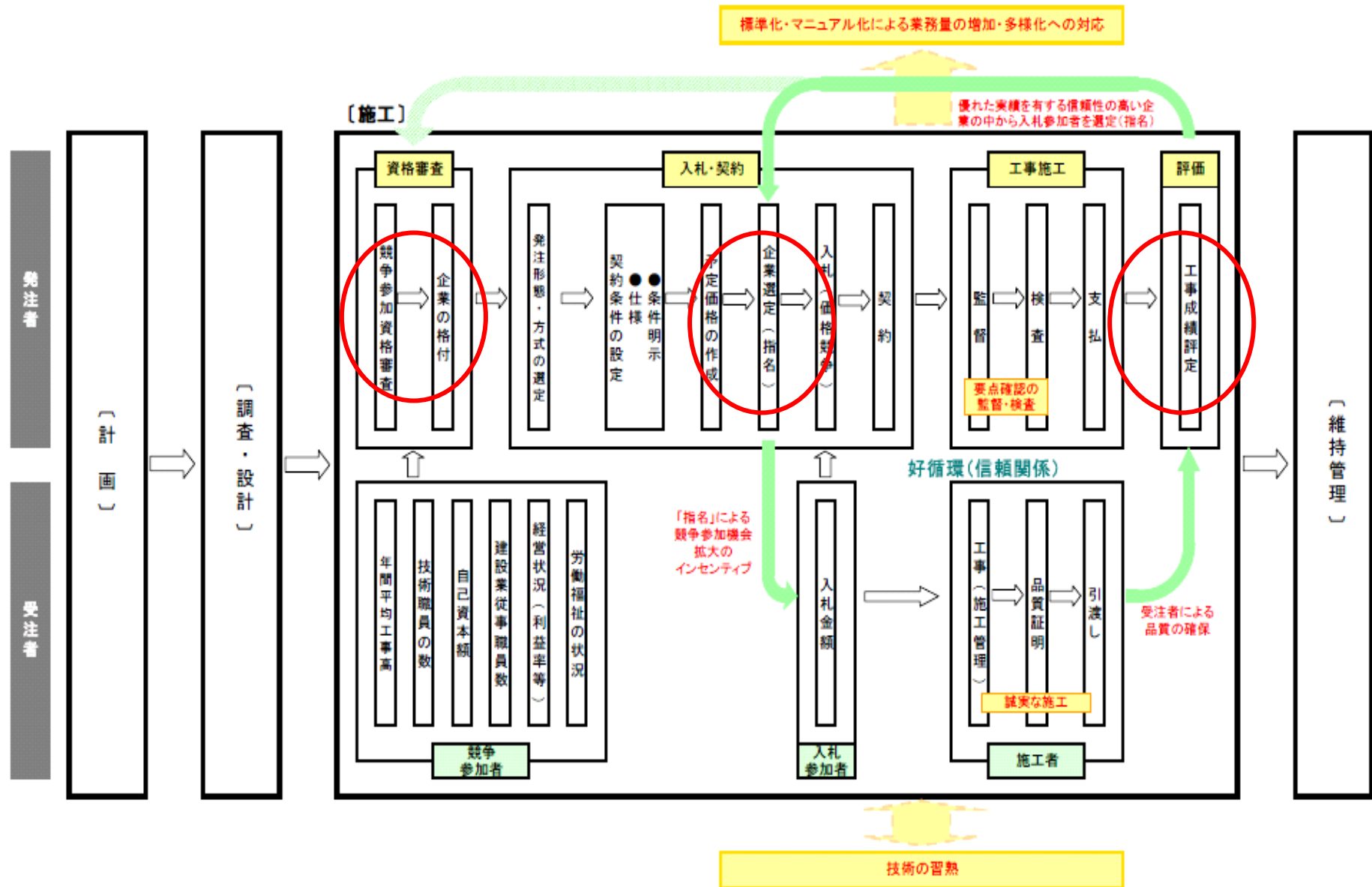
- ✓ 設計コンサルタント業務等成果向上に関する懇談会

## 公共工事の監督・検査の充実

- ✓ 設計・施工プロセス専門部会(発注者責任懇談会)
- ✓ プロセス重視の監督・検査、成績評定
  
- ✓ このほか、企業評価、品質確保専門部会が活動中



# 従来(指名競争入札)の品質確保の仕組み



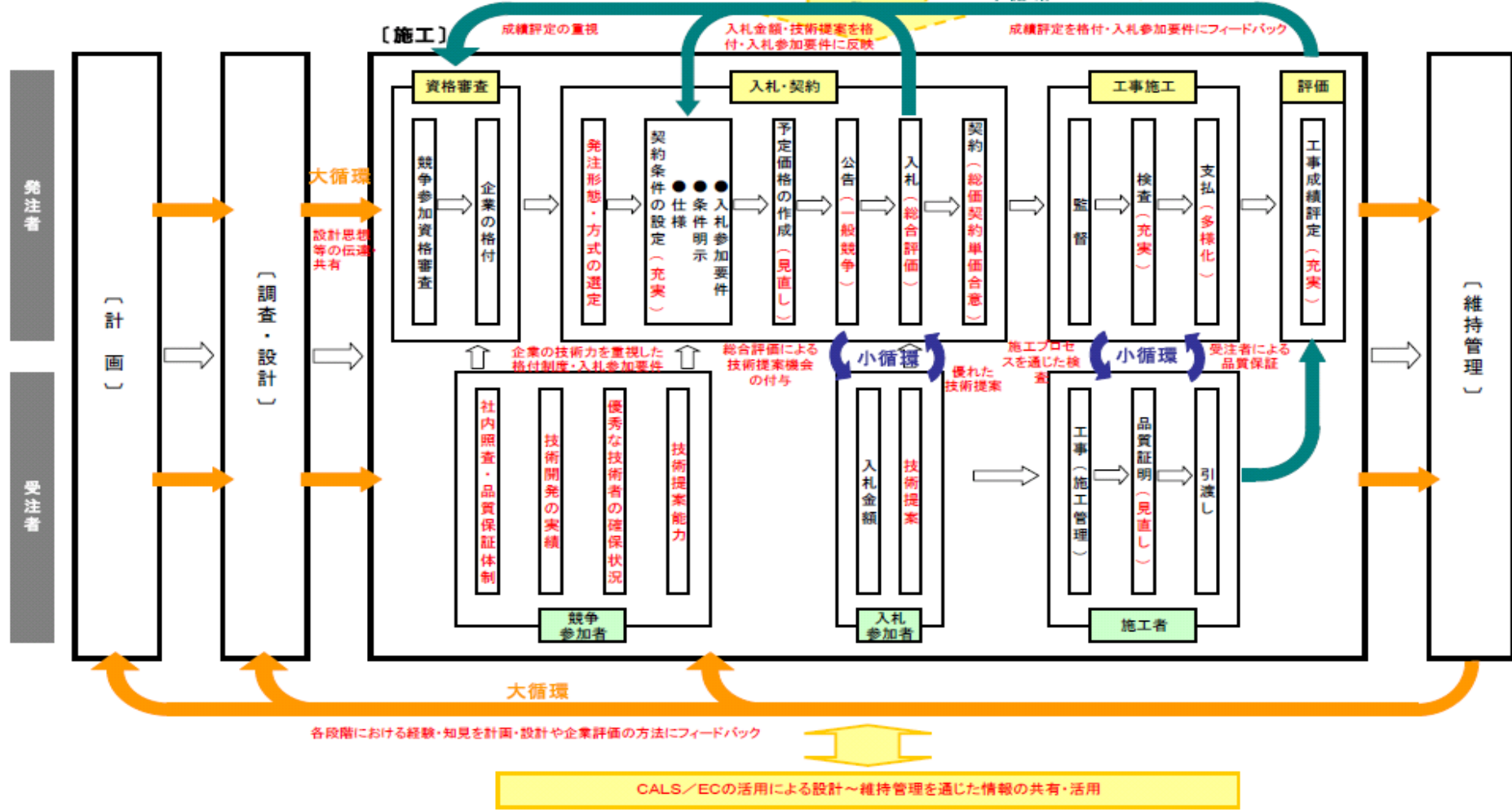


# 新たな品質確保の仕組みの仕組みの構築

【小循環】  
個々の工事等において品質の高い成果が確実に得られる仕組み  
【中循環】  
企業の実績や努力が受注者選定に適切に反映される仕組み  
【大循環】  
建設生産システム全体を通じて各段階の経験が着実に次の段階へ引き継がれ、かつ上流段階に環流される仕組み

発注者の体制整備・発注者支援の仕組みづくり

CORINSやTECRIS等による情報の共有・活用



# 公共工事の監督・検査の充実

受発注者間の信頼関係を前提とした限定的な監督・検査からの転換

品質(=耐久性)を左右する施工プロセスを重視した検査  
従来の監督と検査の役割分担の見直し

中間検査に加え、抜き打ち的な施工プロセス検査の実施  
施工プロセス検査制度の円滑な導入のための体制強化  
プロセス評価を工事成績に反映

下請企業を含めた工事評価制度

下請けの表彰制度、工事評定の導入

設計・施工プロセス専門部会で検討

# 調査・設計業務等における品質確保の方向

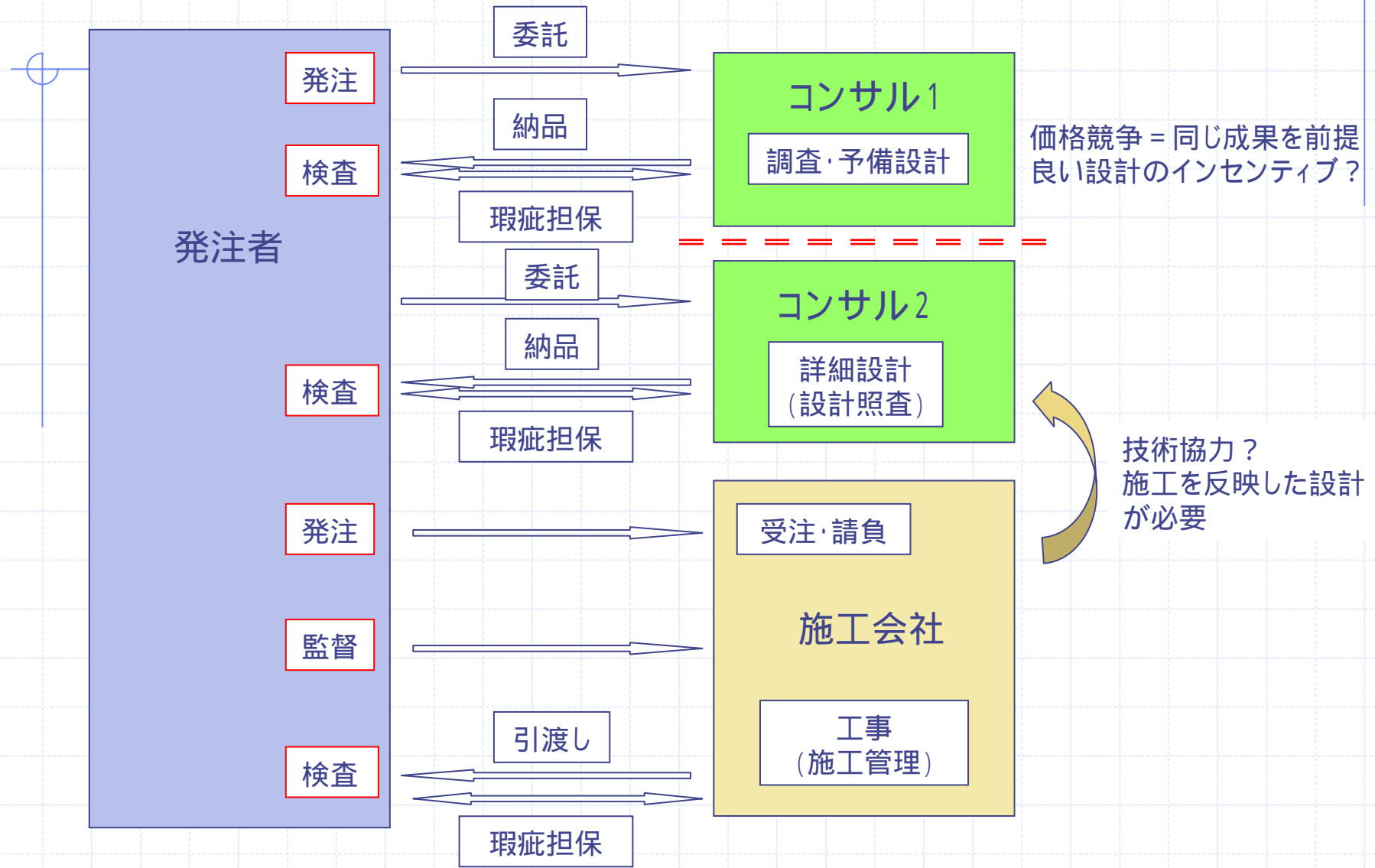
設計業務における施工会社と設計コンサルタントの  
役割の見直し

設計成果の照査制度の見直し  
第3者による設計照査の導入 等

業務における総合評価方式の導入

一部試行的に実施：「鵜住居第一高架橋詳細設計業務」

# なんとなくこのように描いてしまいが、これは直営時代の名残り



# 発注者支援型コンサルタント(こんな図で考えてみたら?)

